

# 残したい地域の風景

—中野区エリアの景観・歴史・環境遺産—

2015年開催の第24回保存問題東京大会時に、東京14地域会の協力のもと「未来へ継承したい環境・景観・建造物・建築物」をテーマにまとめ、大会シンポジウムで各地域会から発表されました。その時の資料をベースに「未来へ継承したい風景」として連載しています。



中野地域会  
小西敏正

中野区は文化財に恵まれているとは言えず、緑被率も16.4%で23区中で少ない方に入る。緑のあった住宅地が細分化することで、宅地が緑を育てる余地をなくし、さらに減少している区域が多い。心の中に残しておきたい風景も含めて取り上げてみた。

## 中野サンブラザ

設計：日建設計 林昌二／昭和48(1973)年

昭和48年に全国勤労青少年会館として竣工。利益が見込める施設であったため民間への譲渡が求められるなど、紆余曲折があった。平成30年、中野区長は「周辺各地区の整備と密接に関連していることを考慮し、施設の再整備に向けて検討を進める」「現在の施設の歴史やブランド、形状などのDNAを引き継ぐ」として建て替える方針を明らかにした。今や、中野のシンボリック的存在になっており、DNAを引き継ぐという意味は抽象的で、何が引き継がれるのかわからないが、未来に継承したくなる中野の風景であってほしい。



中野サンブラザ



サンモールからブロードウェイ入口を見る

## サンモールからつながる中野ブロードウェイ

中野駅から早稲田通りまで広い道(ブロードウェイ)を貫くということで始まった計画であるが、早稲田通り出口の買収がうまくいかず現在のよう形になった。一時、営業店の多くが高齢化し閉店が続いたが、サブカルチャーが入り全体に活性化された。駅に続くアーケード(サンモール)、東側の飲み屋街と合わさり中野にしかない雰囲気をつくっている。

## 白鷺の茅葺き民家とその屋敷林およびその近辺

錆びた波板に保護され、中野区で唯一といえる茅葺の民家が広大な屋敷林に囲まれ残っている。建物は万延年間に移築されたと伝えられている。漬物業を営んでいたが現在は廃業。ぜひとも残したい中野の風物の1つだが、この敷地のしかもこの民家の真上を計画道路が縦断する予定になっている。敷地の東側の道を北に進むと、長屋門を持つ民家や道路に沿って櫛の大木の列が頭上を覆っている。また、ごく近くに前川國男の鷺宮住宅が残っている。



白鷺の茅葺き民家

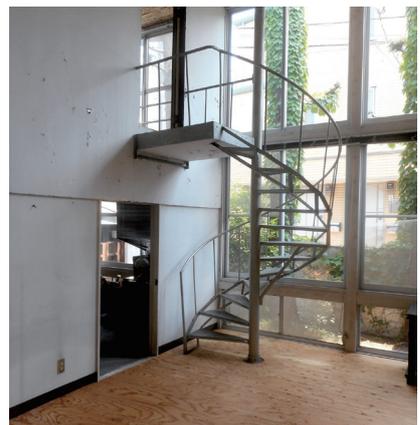
## 三岸好太郎・節子のアトリエ

国登録有形文化財

DOCOMOMO選

設計：山脇巖／昭和9(1934)年

三岸好太郎の依頼を受け、バウハウス帰りの山脇巖が設計。残念なことに好太郎は上棟式の日に吐血し、完成を見ずに他界したが、妻の節子によって完成された。鉄骨の螺旋階段を持つ、まさにモダニズム建築を絵に描いたようなアトリエが残っている。東側はフランス帰りの節子の好みも入れた増改築がなされ、節子の画家生活の歴史を映している。イベントに合わせて見学可能。



三岸好太郎・節子のアトリエ

## Y邸の土塁

妙正寺川の流域で中野区立第四中学校の北側、かつては大雨のたびに浸水した。このあたりから北に向けて次第に高くなる地形だが、Y邸は土塁をつくり熊笹を植え、その上に垣根を回し、一段高いところを敷地として出水に備えている。庭木も多く、昭和6年竣工の住居はステンドグラスのある玄関を持ち、珍しいスレート波板瓦葺きの趣がある建物である。



Y邸の土塁

## 童謡発祥の地

上高田3丁目の辺りには、緑のある広い敷地をもった何軒かの住宅が点在する。特に、名主を務め、沢庵の製造もしていた竹垣のS邸(ケヤキ屋敷)の辺りは童謡作家の<sup>たつみせい</sup>巽聖歌による「たぎび」の歌(昭和16年発表)の舞台として知られている。竹垣の道は今でも素晴らしいたたずまいを見せてくれる。



童謡発祥の地 竹垣のS邸

## 荒牧医院

杉並の高円寺駅から、駅前商店街を北上し早稲田通りに出た向かい側は中野区。ここに建つ荒牧医院の建物は、大正末から昭和初期にテラーとして建てられ、戦後、荒牧医院となっている。都道の拡張工事に当たり建物前面を斜めに削らざるを得なくなったが、従前の意匠を受け継ぐ形で改修がなされ、この辺りのシンボリックな存在として継続されることになった。



荒牧医院

## 中野刑務所の門

後藤慶二の設計した旧豊多摩刑務所がこの地にあり、昭和58年に解体されたが、日本建築学会等の要望によって正門だけが保存され法務省の敷地内に残った。法務省の施設が移るにあたり、中野区が小学校建設用地とした敷地内に位置することになり、その保存方法について議論がなされている最中である。受け継がれなければいけない、中野を超えた貴重な日本の歴史の証である。



中野刑務所の門

## 野方配水塔

国登録有形文化財

昭和5年に建設された配水塔で、国内にいくつか同じような配水塔があり、その形状に特徴がある。中野区における登録有形文化財の第一号であり、現在「みずのとう公園」として整備され、災害時の非常用水源となっている。高台にあるため、遠方からもその存在を目にすることができる。



野方配水塔

## 哲学堂公園

国指定名勝

哲学館大学を退隠した井上円了が、明治37年に、源頼朝の重臣であった和田義盛の城があった妙正寺川に面した高台を精神的修養公園とすることに決め、ソクラテス、カント、孔子、釈迦を祀った四聖堂をつくったのが始まり。さまざまな哲学的名前を持った建築が点在している。他に例のないユニークな存在である。



哲学堂公園

今回取り上げなかったが、中野区には、未来に継承したい素晴らしい風景がまだまだある。2015年保存問題東京大会のために選んだリストを参考していただければ幸いである。